



## 卒業証書授与式

本日23日(木)に令和四年度の卒業証書授与式を無事挙行できました。今年度は、ウィズコロナの試行的段階を迎え、在校生代表として5年生全員の参加も叶い嬉しく思います。さて、本日99人が帯山西小学校を巣立っていきました。

卒業生たち一人一人の名前を呼びながら、「おめでとう。」と言いながら証書を渡すことができて、嬉しかったです。

卒業生もしっかりと私と目を合わせ、凛とした姿に頼もしさを覚えました。(※以下は、紙面の都合上、式辞の一部を掲載します。)

今年度、6年生と共に、帯西レンジャーの「4つの心」を生かした教育活動をスタートさせ、帯山西小学校の教育活動が充実したのは、6年生のリーダーシップと活躍無しには考えられません。6年生が入学してからの6年間で、世の中では、予測不能なことが起こり、社会は大きく変わりました。新型コロナウイルスの蔓延や、ロシアによるウクライナ侵攻など、見えてきたのは日常を奪われた私たちの、そして紛争地にある市民の姿でした。しかし、このような中でも人間は、新たな未来を創り出そうと、常に前に進み続けます。(中略)世界は持続可能な社会づくりに大きく舵をきっています。持続可能な社会づくりは、人々を幸福にするために展開されるべきなのです。これから社会で必要とされる力は、新たな考えや価値を創り出す力、考えを出し合って話し合い、みんなで決める力、決まったことに対して責任ある行動をとる力などです。このように変化が激しく予測がしにくい未来社会では、解決が難しい問題に協力して立ち向かうための力が求められているのです。これは、まさに帯山西小学校が目指している力そのものなのです。6年生は自分や友達の行いを「4つの心」で価値付けたり振り返ったりしながら、自己有用感を高めてくれました。これを言い換えると、帯山西小学校は、未来で活躍できる人材を育てていく学校である、と自信をもっていうことができます。皆さんも、帯山西小学校で過ごしたという誇りを胸に巣立って行ってください。

証書授与の後は、卒業生からメッセージと合唱を「卒業の詩」として、ひな壇から伝えてもらいました。卒業生の合唱は素晴らしく、参列した人たちの心に感動を与えてくれました。「いのちのまつり」の歌詞にもあるように、全ての命が輝いた式となり、この命がいやさかえますようにと祈りと似た思いが込み上げてきた式となりました。



## 保護者の皆さんからのサプライズ

式終了後には、教室で担任とのお別れがありました。その後、体育館に卒業生と保護者が集まり、保護者からの歌のプレゼントがありました。歌は嵐の「カイト」で、合唱部の子供たちが歌をリードしてくれました。「君の夢よ叶えと願う」と歌詞を聴いているうちに、これからの卒業生に明るい未来が訪れることを願いました。

卒業生保護者の皆様、この6年間、帯山西小学校の教育のためにお力添えを頂きましたことに本当に感謝します。